

TTC ゆった〜り山行実施記録表 2018年12月03日 報告者:Y.M

山行名	遠州三山(可睡齋・油山寺・法多山)紅葉ウォーキング			[静岡県袋井市]
実施日	平成30年12月01日(土) 日帰 ハイエース利用			
天候/参加人員	天候:終日晴、レベル:★ 参加者:申込12名/実施12名(男5名/女7名)			
パーティスタッフ	省略			
参加メンバ	省略			
費用	約5,500円(交通費¥4,971 + 拝観料¥500 + カンパ金¥29)			
一人:5,500円	ハイエースレンタル料¥17,388*1、燃料代[@125x(450+50)/5]¥12,500、高速料金(厚木→袋井5,370、掛川→厚木5,090 中型車)¥10,460、ドライブ謝礼(基本+距離加算1,000):¥19,000、法多山駐車料金¥300/交通費計:59,648/12人⇒一人当たり交通費¥4,926、可睡齋諸堂拝観料(@500x12)¥6,000、費用総額¥65,648/12人⇒一人当たり¥5,462			
カンパ金:352円	集金(@5,500x12)¥66,000-費用合計¥65,648=残金¥352(山行カンパ金会計に繰り入れ)			
*1:事故時免責0円の保険に変更したことにより540円 up				
	歩行時間	拝観+休憩時間	行動時間	可睡齋〜久野城址〜千鳥ヶ谷池ハイキングの歩行距離:約5km/所要時間〜2.5時間 歩行数:約18,000歩
ガイドブック	—	—	—	
計画	—	—	6:15	
実行	3:31	2:43	6:14	
実行コースタイム記録				
東名高速道/中型¥5,370 (諸堂拝観) 0:37				
鳶尾団地(荻野新宿/及川中原/林)=旧ヨカテ前=厚木 IC=足柄 SA=牧ノ原 SA=袋井 IC=可睡齋—久野城址	6:00	6:22/6:25	6:32 7:09/7:26	8:45/8:57 9:15 9:25-10:40 11:17-11:30
0:30 (昼食)			0:03	0:18 0:15
—中峰山展望台(千鳥ヶ谷池2/3周)—千鳥ヶ谷池駐車場=油山寺P—油山寺宝生殿—薬師本堂—油山寺P=	12:00-12:32	13:00/13:03	13:07 13:10/13:20	13:38/13:45 14:00/14:02
0:13(厄除団子) 0:10	0:25	東名高速道/中型¥5,090		
法多山P—団子茶屋—尊永寺本堂—法多山P=掛川 IC=富士川 SA=厚木 IC=ヨカテ前=(市内各所)=鳶尾	14:22	14:35-14:50 15:00/15:13	15:38/15:42 15:57 16:52/17:14	18:18 18:30 18:50頃
コースの概要、特記事項、反省事項等				
<p>東海道五十三次の真ん中に位置する袋井宿周辺には、古来より信仰篤い可睡齋、油山寺、法多山の3名刹があり、遠州三山として知られ、紅葉シーズンには大勢の観光客が訪れる紅葉の名所。その素晴らしさに感銘を受け、紅葉最盛期のこの時期に今川氏が築いた久野城址を巡る約5kmのウォーキングを加え、ゆった〜り山行として計画・提案し、12名で実施する運びになった。</p> <p>東名厚木ICから袋井ICまで約186km走り、一般道を10分走った先の曹洞宗可睡齋に、3時間を要して到着。この変わった名称の禅寺は、竹千代(家康の幼名)が、武田軍に追われてこの寺に逃げ込み、寺の和尚に助けられ、後年その礼として家康に浜松城に招待を受けた際、家康の前で居眠りして、家康より可睡和尚の称号と10万石の寺領を賜り、以後寺の名称を可睡齋と改名したという。また火坊信仰篤い秋葉山神社の主神「秋葉三尺坊大権現」の御真跡を祀る秋葉総本殿を擁する遠江国きっての名刹だ。修行僧の読経が大音響で響きわたる諸堂を見学して廻った。道元の遺骨や歴代徳川將軍の位牌を安置する霊廟、毘沙門天像に加え、日本一大きな仏の守護神「烏鶯沙摩明王」を祀った昭和12年建設の格式高い水洗式東司を興味深く使わせてもらい、瑞龍閣に飾られている32段/1200体のこれまで見たこともない大スケールの雛壇に圧倒された。</p> <p>その後、天狗ハイキングコースを辿り、土塁が残る久野城址の本丸跡に登って大展望を楽しんだ。更に田園や里山風景を楽しみながら東進し、中峰山から油山に続く標高50~60mの丘陵を北に辿り、中峰山展望台で昼食を摂った後、静岡県の水辺100選の名所千鳥ヶ谷池畔に降り立ち、約1kmの池畔の散策を楽しんでから、ドライブ待合駐車場でハイエースに乗り込んで油山寺に向った。</p> <p>奈良時代初期創建の古刹の油山寺(モジ約1500本)は紅葉狩の大勢の参拝客で賑わう。眼病平癒にご利益がある本尊の薬師如来は、天狗谷の原生林の中に続く500段以上の石段を、途中、霊水流れ落ちる「るりの滝」で一休みし、約20分要して登った先の源頼朝寄進の珍しいむくり屋根の薬師本堂内に納まる今川義元寄進厨子内に鎮座する秘仏。本堂左側に立つ三重塔(国重要文)は安土桃山期の三名塔の一つだという。全員がんばって薬師本堂まで石段を登って参拝を済ませた。</p> <p>最後の立寄り先「法多山」は車で20分の距離。もみじ祭りのイベントで大賑わいだ。重文の山門を潜ると約1000本のモジ並木の参道が続く。三山のいずれも共通して全体の半分ほどのモジは、紅葉のスイッチが入らず、まだ青葉のまま、葉先が濡れてしまっているモジの樹も目立ち、真っ赤に色づいたモジの木は少数派だ。これは例年に比べ11月の平均気温が約2℃高かったことと、度重なる台風の強風がもたらした塩害が原因だという。法多山名物の厄除け団子(一皿200円)を境内の団子茶屋で食してから、本尊の聖観音を祀る尊永寺本堂に参拝した。駐車場に戻り、浜松の実家に立ち寄るというskさんと別れ、掛川ICから厚木に向かった。帰路の東名高速は予想外に車が少なく、計画より2時間早い6:30pmに厚木に帰着できた。</p>				